

DREAM POWER 

エンジン耕うん機

ERC-113D

取扱説明書

このたびは、弊社「エンジン耕うん機 ERC-113D」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。



もくじ


安全上のご注意	1~5	使用前の準備	10
仕様	6	使用方法	10~12
付属品	6	作業方法	13~14
各部名称	7	保守と点検	15~19
組立方法	8~9		


この製品は、海外ではご使用になれません。
USE ONLY IN JAPAN.


【安全上のご注意】




- ◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害、火災に結びつく重大な内容を記載しています。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
- ◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡してください。










●表示と意味

 **警告**
使用を間違った場合に、人が死亡、または、重傷を負う危険・物的損害・火災の危険性が想定される内容を表記しています。

















 **注意**
使用を間違った場合に、人が傷害を負う危険性・物的損害の発生が想定される内容を表記しています。

- ※  注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく危険性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。
- ※ 取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した注意事項以外にも十分な配慮をしてご使用ください。













図記号の例		図記号の意味
	禁 止	行為の禁止を示します。
	強 制	行為を強制・指示する内容を示します。
	注 意	注意を促す内容を示します。

 警告	
・エンジンを始動させる前に、各部のネジがゆるんでいないか、オイル・グリスが入っているか・漏れていないか、損傷はないか、必ず各部の点検を行ってください。	
・疲れている時や体調の悪い時、酔っぱらっている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。	
・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、点検または修理を依頼してください。	
・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。	
・燃料は注入口の口元一杯まで入れず、8分目程度にしてください。運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。	
・燃料は必ず自動車用無鉛ガソリンを補給してください。 軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料・粗悪ガソリン等を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しますと、エンジンを損傷する原因となります。	
・分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で、一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。	
・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。	

 警告

<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転中はもちろん、使用しないときでも本機の上に物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械の点検や修理を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用中、使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転中、高電圧コードやプラグキャップに触れないでください。感電の恐れがあります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ エンジンは作業機に搭載した状態で使用するようになっていますので、絶対にエンジン単体で始動させないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転操作のわからない人、指導を受けていない人、妊娠している人、お子様には操作させないでください。また本機を他の人に貸すときは取扱説明書を必ず添付してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機に付いているカバーやラベル、その他の部品を外して使用しないでください。また、改造は絶対にお止めください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料は非常に引火性が高く、気化した燃料は爆発事故を起こす恐れがあります。燃料補給の際は必ずエンジンを止め、エンジンが冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから補給してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備点検・燃料補給の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機の周りに、石油、シンナー、火薬等の燃えやすい物は近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 誤って本体を落としたり、ぶつけたりした場合は異常の有無を確認してください。破損や亀裂、変形が無いことをよく確認してください。ケガや火災の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 点検作業等を行う際は、通行の妨害にならないような場所及び平坦で安全な場所で行ってください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送途中の衝撃等により、製品が破損したり、取付部品が曲がったり外れたりする場合がありますので、ご使用前には必ず確認して、正規の状態でご使用ください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 可燃性・揮発性の液体やガス等の燃えやすいものの近くでは運転しないでください。爆発や火災の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体を車で運搬する場合は、燃料タンクに燃料が入っていない(空の状態)事を確認してください。また、本体が動かないようにしっかり固定してください。火災や事故の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機を始動させる前に、必ず全てのボルト・ナット等が適切に締め付けられているか確認してください。調整用の工具類は使用後すぐに外すようにし、エンジンを始動する前には必ずそれらが外してあることを確認してください。 	




⚠ 警告









<ul style="list-style-type: none"> 作業以外で本機を移動する際は必ずエンジンを停止させてから移動させてください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 本機をお子様に操作させたり、近寄らせないでください。ケガの原因となります。また、本機にお子様を乗せたりしないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 使用方法・作業方法・周囲状況等に十分に注意をして使用してください。軽率な行動は事故やケガの原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> リコイルスターターを引いてエンジンをかける時、遅れてエンジンが始動する場合がありますので注意してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 作業場所には、作業関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険です。また、作業中、進行方向に人や動物がいないことを確認してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 指定された用途以外に使用したり、水中で作業しないでください。また、エンジン部に水をかけないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 本機を無人で放置しないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨中や濡れた場所では使用しないでください。足元が不安定で、事故の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 安全に使用するために、耕うん機の能力に合った負荷で使用してください。過負荷で使用すると発熱し、耕うん機の故障や火災等の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音や異常振動等がしたときには直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 専用の耕刃を使用してください。専用の耕刃以外の物を使用すると、事故やケガの原因となりますので使用しないでください。少しでも曲がり、歪み、亀裂、折れ、損傷のある耕刃は新品と交換してください。耕刃の取付け、取外しの際は、耕刃の先にボロ布(ウエス)等を巻き付け、手袋を着用してください。ケガの原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 斜面での使用は危険ですので、絶対に行わないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> スロットルレバーを「STOP」にした時、エンジンが完全に停止している事を確認してください。また、本体から離れる時は、スロットルレバーを「STOP」にしてエンジンを停止させてください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 作業中は、左右のハンドルをしっかり持ち、正しい姿勢で作業をしてください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒するなど、思わぬ事故の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 回転速度をむやみに上げないでください。回転速度を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。回転速度を急に上げると飛散物が飛び散る等、思わぬ事故の原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 15m以内に人や動物を近づけないでください。また、二人以上で作業をする場合も15m以上離して作業をしてください。飛散物等が当たる、思わぬ事故、ケガの原因となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 十分に安全を確認してからエンジンを始動してください。エンジンを始動すると同時に耕刃(回転部)が回転する場合があります。 	

 警告

<p>・ビニールハウス内など換気の悪い場所では作業を行わないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。</p>	
<p>・安全に作業を行うために、エンジンを始動させないで、機械の操作方法を練習してください。</p>	
<p>・修理は必ずお買い求めの販売店、または弊社のお客様相談窓口までご依頼ください。ご自身で修理をすると、事故やケガの原因となります。</p>	
<p>・本機を使用しない場合は、燃料を抜き、お子様の手の届かない乾燥した場所または鍵のかかるところに保管してください。</p>	
<p>・回転中の耕刃には、近づいたり、絶対に触れたりしないでください。ケガなど事故の原因となります。</p>	
<p>・給油した場所でエンジンを始動させない、少なくとも3m以上離れた所で始動させてください。</p>	
<p>・次の場合は、エンジンを停止させ耕刃の回転が止まるのを確認してください。本体が動いたままでは、思わぬ事故の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●危険を感じた場合、危険が予想される場合 ●作業場所を移動する場合 ●本体に巻き付いたゴミや草を取り除く場合 ●作業場所の障害物を取り除いたり、作業で発生したゴミ・草等を運ぶ場合 ●耕刃の交換、その他の点検を行う場合 ●使用しない場合 	
<p>・運転中は、燃料キャップを外さないでください。</p>	
<p>・耕刃に草などが巻きついたときには、必ずエンジンを停止させ、耕刃の回転が停止したことを確認してから草などを除去してください。草などを取り除いたはずみで不意に耕刃が回転し、ケガの原因になります。</p>	
<p>・作業しない時や、抵抗棒、タイヤの切り換え、各部の清掃を行うときは必ずエンジンを停止させてください。</p>	
<p>・指定の付属品、アタッチメント以外は使用しないでください。事故やケガの原因になります。</p>	

 注意

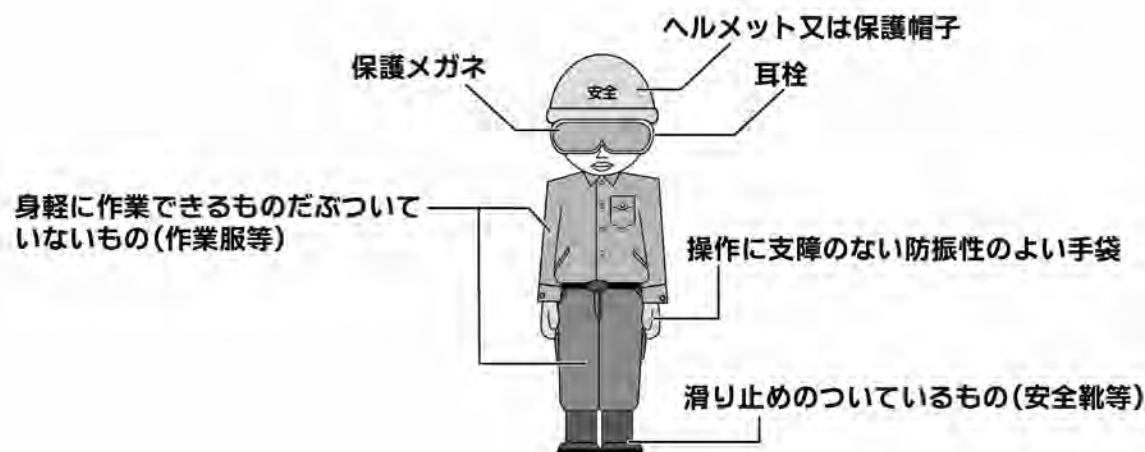
<p>・燃料系統の部品に異常が無いかを定期的に点検してください。</p>	
<p>・使用時、燃料は常に新しい物を使用してください。古い燃料を使用していると、運転が不調になる原因となりますので絶対に使用しないでください。</p>	
<p>・リコイルスターターや冷却フィンの周りについたゴミは取り除くようにしてください。また、定期的にエアフィルターを清掃を行ってください。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> 作業をする前に、その地域の規則や取り決めがあるか確認してください。ある場合は、それに従ってください。 											
<ul style="list-style-type: none"> 運搬、保管の際は、安全のため必ず耕刃をウエスなどで包んでください。 											
<ul style="list-style-type: none"> 作業中は、保護メガネ・イヤーマフ（耳栓）等で身体を防護してください。粉塵の多い作業では防塵マスクを着用してください。 											
<ul style="list-style-type: none"> 本体は注意深く手入れをしてください。ハンドルの握り部分は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリスが付かないようにしてください。 											
<ul style="list-style-type: none"> 作業をする場所の石、カン、ビン、コンクリート、針金など、落ちていた物を取り除いてください。また、木の根や岩のある場所では作業しないでください。耕刃の損傷やケガの原因となります。 											
<ul style="list-style-type: none"> 耕刃は必ず指定のものを確実に取り付け、損傷や変形などの異常がないか確認してから使用してください。異常がある状態で使用するとケガの原因となります。 											
<ul style="list-style-type: none"> 長期間の保管の際は、燃料タンク・キャブレター内の燃料を抜いてください。各部の清掃をきちんと行い、金属部分には薄くオイルを塗ってください。 											
<ul style="list-style-type: none"> 一日の作業時間は2時間以内にしてください。疲労は事故の最大の原因です。長時間の連続使用はしないでください。20分作業したら、10～20分以上休息してください。 <table border="1" data-bbox="87 929 598 1164"> <tr> <td>1回の連続使用</td> <td>20分以内</td> </tr> <tr> <td>1日の使用時間</td> <td>2時間以内</td> </tr> <tr> <td>連続使用日数</td> <td>3日以内</td> </tr> <tr> <td>1週の使用日数</td> <td>5日以内</td> </tr> <tr> <td>1ヶ月の使用時間</td> <td>40時間以内</td> </tr> </table>	1回の連続使用	20分以内	1日の使用時間	2時間以内	連続使用日数	3日以内	1週の使用日数	5日以内	1ヶ月の使用時間	40時間以内	
1回の連続使用	20分以内										
1日の使用時間	2時間以内										
連続使用日数	3日以内										
1週の使用日数	5日以内										
1ヶ月の使用時間	40時間以内										

○騒音防止規制

- 騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。

※注意に表記してあるものでも状況によっては、死亡・重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。



上図のような動きやすい服装で作業を行ってください。

【仕様】

エンジン形式	空冷4サイクルガソリンエンジン
使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
排気量	113mL
出力	2.0kW (2.6PS) /3600min ⁻¹
燃料タンク容量	800mL
始動方式	リコイルスターター
点火プラグ	NGK : CR7HSA
耕幅	460mm
耕深	200mm
刃形	ナタ爪刃
爪径	φ240mm
騒音値	約83dB
本体寸法	W520mm×D1240mm×H1180mm
質量	約26.5kg

※仕様・外観等は改良等のため、予告なく変更することがあります。

【付属品】 ※大きさは実寸比と異なります。



本体×1



左・右ハンドル×1



U字ハンドル×1



ハンドル固定ボルト×1
(本体装着済み)



スパナ×2

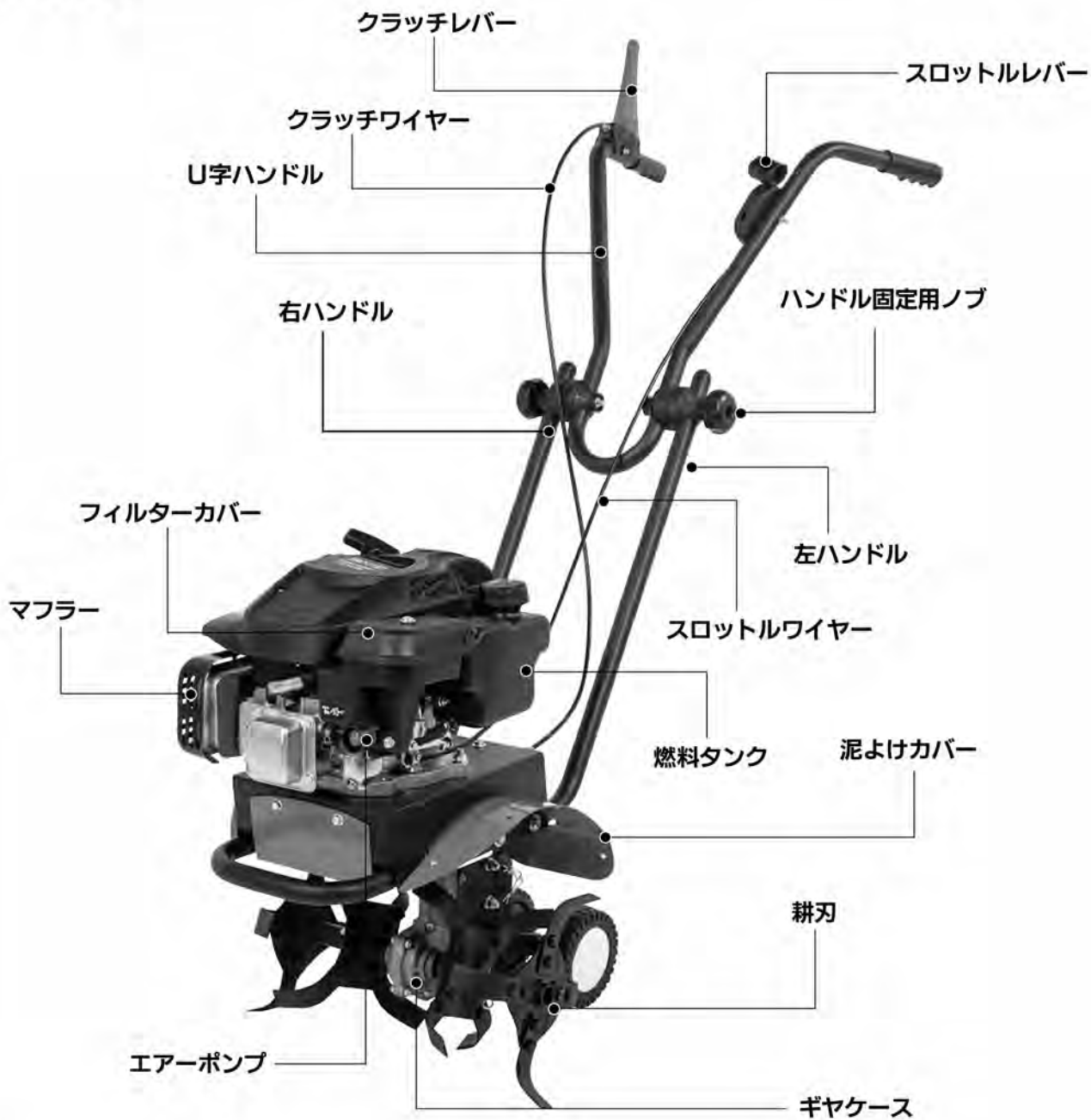


L型六角レンチ×1



プラグレンチ×1

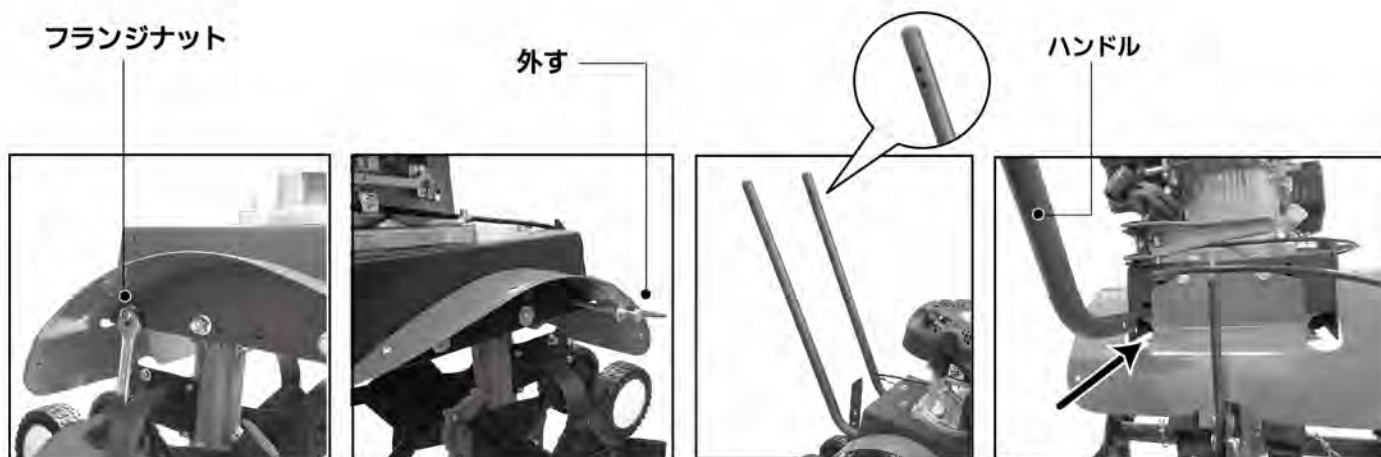
【各部名称】



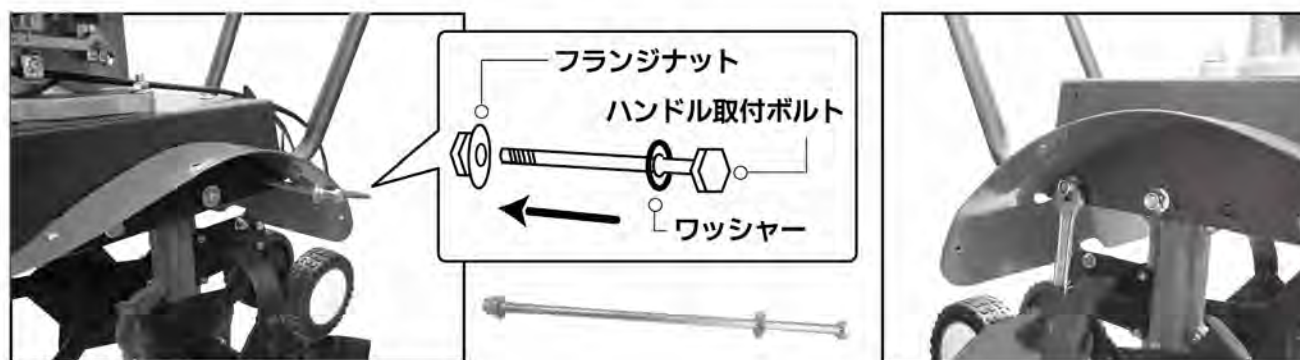
【組立方法】

●ハンドルの取付方法

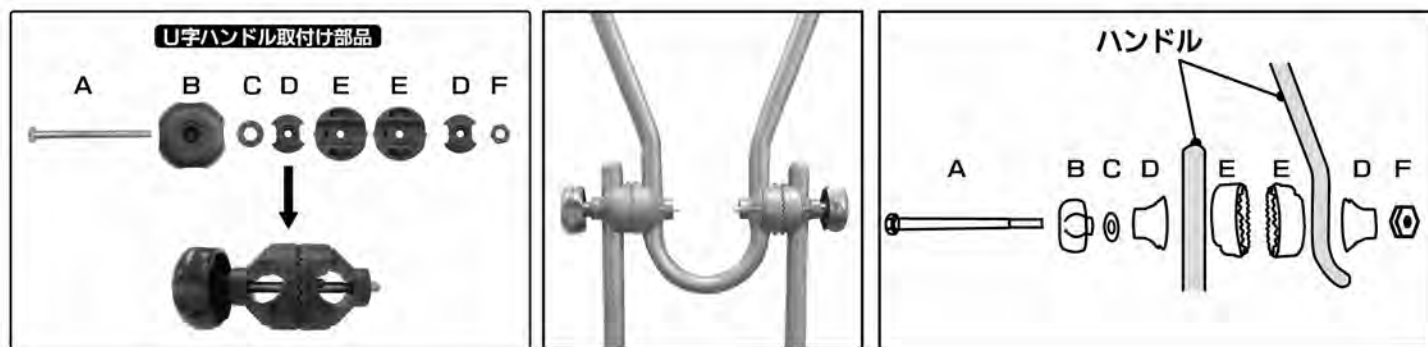
①ハンドル取付けボルト（本体装着済み）を本体から外し、ハンドルの穴が2つある方を中側にして本体に差し込みます。



②ハンドルの穴に合わせてハンドル取付けボルトを下記の様に差し込み、付属のスパナ(13mm) 2本で締め付けます。



③U字ハンドルの穴と、ハンドルの穴を合わせ、U字ハンドル取付け部品で取り付けます。



●スロットルレバー/クラッチレバーの取付方法

※スロットルワイヤーが張って折りたたみができなくなるため、スロットルワイヤーはハンドルの上側にくるようにしてください。



○スロットルレバー

- ①スロットルレバーに付いているナットを外し、ボルトを左側のハンドルの内側に取り付くように付属のスパナ（10mm）でナットを締め付けます。
※ボルトやナットを紛失しないように注意してください。



○クラッチレバー

- ①クラッチレバーに付いているボルトとナットを付属のL型六角レンチで外し、クラッチレバーを右側のハンドルに差し込み、ボルトとナットで固定します。
※ボルトやナットを紛失しないように注意してください。



【使用前の準備】

●作業場所の整備

- ・作業をする場所に障害物(缶・ビン・石・針金・ひもなど)が落ちていないか確認してから作業をしてください。
- ・また、木の根が這った場所や岩のあるところ、水中では使用しないでください。耕刃の損傷やケガの原因となります。



【使用方法】

●燃料の準備・給油

⚠ 警告

- ・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ・給油を行うときは、火気の無い場所で行ってください。タバコを吸ったり、その他の火気を絶対に近づけないでください。火災・爆発・ヤケドの原因となります。
- ・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
- ・燃料が残っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。肌についたり目に入った場合はただちに流水で充分洗い流し、体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

⚠ 注意

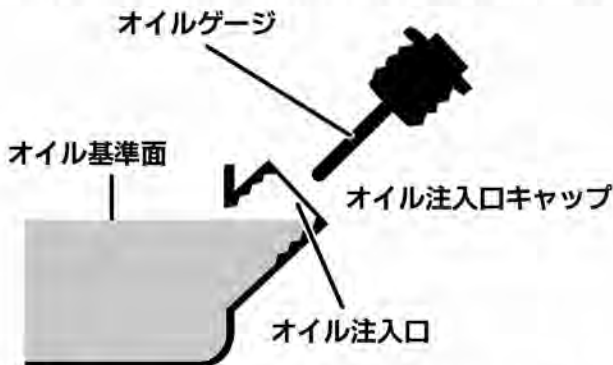
- ・燃料は、作業に必要な量をその都度準備してください。1ヶ月以上経過した燃料は揮発したり、腐敗してエンジンが故障する原因になります。
- ・作業終了後、使用しないときは燃料をタンクから抜いてください。故障の原因となります。
- ・燃料は、燃料タンクの口元いっぱいまで入れないで、8分目位までとしてください。
- ・燃料はガソリン専用の容器に入れて、火気の無い場所で保管または運搬してください。

●エンジンオイルの給油

重要

出荷時はエンジンオイルが入っていませんので、必ずエンジンオイルを入れてから使用してください。エンジンオイルを入れない状態で運転するとエンジンの故障につながる恐れがあり、保証の対象外となります。

- ①オイル注入口キャップを回して外し、オイル注入口より、オイルを入れてください。
- ②注入後は、オイルキャップをしっかりと締めてください。



オイル注入口キャップ

エンジンオイル量	550ml
エンジンオイルの種類	API規格SFクラス以上 SAE粘度分類10W-30

- ※オイルは使用しなくても自然に劣化しますので、定期的に交換してください。(初回は運転時間20時間程度、その後は6ヶ月毎もしくは運転時間50時間程度を目安にして交換してください。)
- ※廃油は法令に従って適切に処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。

●ガソリンの給油

- ①燃料タンクキャップを回して外し、自動車用無鉛ガソリンを給油します。
- ②給油後は、燃料タンクキャップをしっかりと締めてください。
※口元一杯まで入れないで、8分目程度にしてください。

燃料タンクキャップ



●エンジンの始動

⚠ 警告

- ・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。
- ・疲れている時や体調の悪い時、酔っ払っている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。
- ・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、点検又は修理を依頼してください。
- ・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のかもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。
- ・燃料を給油した場所でエンジンを始動させない、少なくとも3m以上離れた所で始動させてください。

⚠ 注意

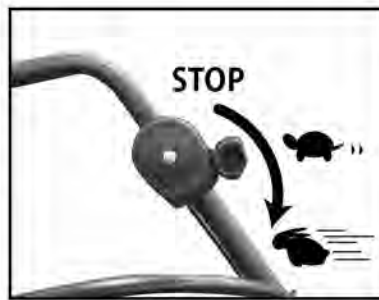
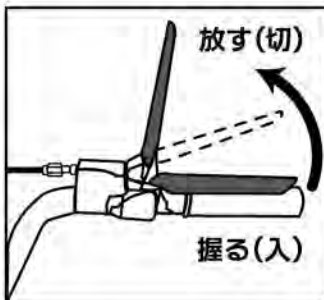
- ・エンジンが始動すると同時に耕刃が回転する場合がありますので注意してください。
- ・エンジンは平らで安定した場所で始動してください。

- ①エアープンプを3回ゆっくり押します。
※押しすぎるとエンジンがかかりにくくなったり、ガソリンがこぼれることがあります。

エアープンプ



- ②クラッチレバーは放した（切）状態にし、スロットルレバーを高速(🐇)の位置にします。




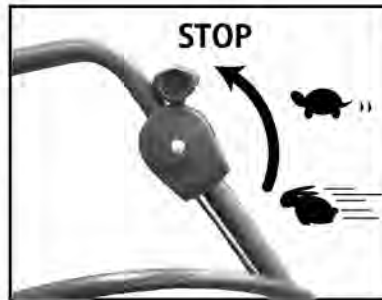
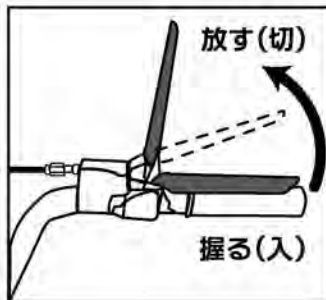
- ③本体を安定した場所に置き、周囲に障害物がないことを確認します。本体が動かないように固定し、リコイルスターターをゆっくりと引きます。

- ④リコイルスターターに抵抗を感じたら、勢いよく引き、エンジンを始動させます。
- ※リコイルスターターを引くときはクラッチレバーを握らないでください。
 - ※リコイルスターターを引くときは、必ず後ろに立って引いてください。エンジン始動と同時に耕刃が回転して動き出す場合がありますので注意してください。
 - ※リコイルスターターはロープ引き出し口の方向にならって真っ直ぐ引いてください。
 - ※ロープはいっぱい引ききらないでください。
 - ※リコイルスターターを引いた後は、手を離さずに静かに戻してください。



●エンジンの停止

- ①クラッチレバーを放し、エンジンの回転を低速回転（）にし、回転が遅くなったら、スロットルレバーをSTOPの位置にします。
- ②エンジンが停止します。
- ※長期間使用しないときは、タンクの燃料を抜き、再度低速でエンジンが自然に止まるまで運転しておいてください。



【作業方法】

⚠ 警告

- ・使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。
- ・作業をする時は、必ず両手でしっかりハンドルを持ってください。
- ・15m以内に人や動物を近づけないでください。また、二人以上で作業をする場合も15m以上離して作業をしてください。飛散物等が当たる、思わぬ事故、ケガの原因となります。
- ・回転速度をむやみに上げないでください。回転速度を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。回転速度を急に上げると飛散物が飛び散る等、思わぬ事故の原因となります。
- ・耕刃に石や異物が挟まったり、草などが巻き付いて耕刃の回転が止まった時は、必ずエンジンを停止させてから、これらの物を取り除いてください。エンジンが回っている時にこれらの物を取り除くと、不意に耕刃が回りケガの原因になります。
- ・本機を前後に必要以上に傾けたり、傾斜状態での運転は避けてください。

⚠ 注意

- ・作業をする場所の石、カン、ビン、コンクリート、針金など、落ちていた物を取り除いてください。また、木の根や岩のある場所では作業しないでください。耕刃の損傷やケガの原因となります。
- ・耕刃は、確実に取り付けられているか、損傷や変形などの異常がないか確認してから使用してください。異常がある状態で使用するとケガの原因となります。
- ・作業時は、土の質や地面の硬さによって回転速度を調整してください。あまり高速回転で作業をすると一箇所を深く掘ってしまいます。
- ・燃料は少なくなってきたら早めに補給してください。
- ・時々ハンドル固定用ノブを調べ、緩んでいたら増し締めをしてください。

①作業場所を整備します。(P10「●作業場所の整備」参照)

②燃料を入れます。(P10-11「●燃料の準備・給油」参照)

③作業をする時は、抵抗棒を下に付け替えてください。

※作業環境によって抵抗棒の高さを調整します。Rピンを外し、高さ調整をしてください。



Rピンを外して抵抗棒を下に付け替える。

④ハンドルはお好みの高さに調節して使用できます。

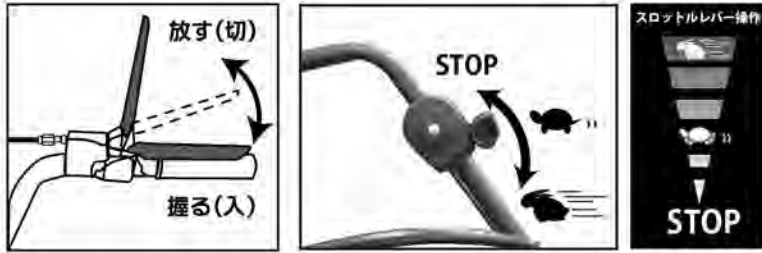
ハンドル固定用ノブ(両側)をゆるめ、ハンドルを上下させてハンドルを使いやすい高さに調節してください。調節が終わりましたら、ハンドル固定用ノブをしっかり締め付けてください。



⑤エンジンを始動します。(P11～P12「●エンジンの始動」参照)

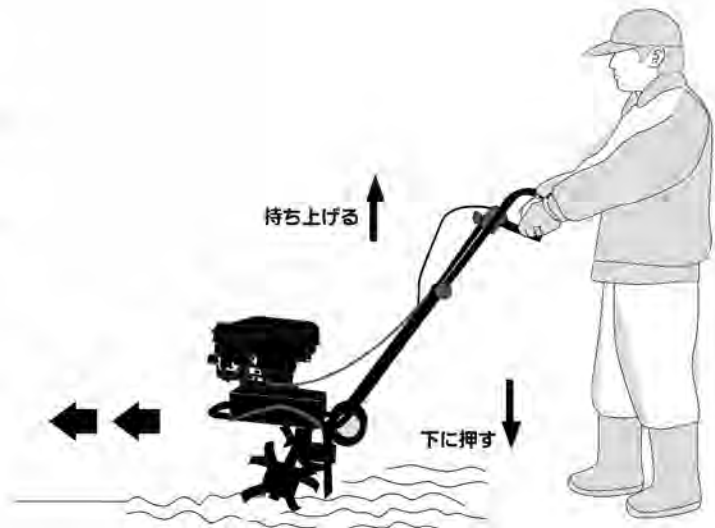
⑥スロットルレバーで回転速度を調整し、クラッチレバーを握り、ハンドルをしっかり持って、耕うん作業をします。

※2～3分低速で暖機運転してから作業を始めてください。
※クラッチレバーをひもなどで固定して運転しないでください。



<浅く耕したい時>

- ・浅く耕す時は、スロットルレバーを運転域まで開き、早めに前進します。
深く掘りすぎて前に進まない場合は、耕刃を回転させた状態でハンドルを少し持ち上げると前進しやすくなります。
土が硬く前に進みすぎてしまう場合は、抵抗棒を下げてください。
- ※硬い土を耕す時は、不意に本体が跳ね上がることがありますので、様子を見ながら加減をして作業を行ってください。



<深く耕したい時>

- ・深く耕す時は、ハンドルを軽く下に押すようにしてゆっくりと前進させます。
土が軟らかく沈んで前に進まない場合は、抵抗棒を上げてください。

<旋回の仕方>

- ・ハンドルを持ち上げてスロットルレバーを低速 (🐢)) にして旋回してください。
※旋回するときは足元を確認して耕刃に巻き込まれないようにしてください。

<停車の仕方>

- ・クラッチレバーを放し、スロットルレバーを低速 (🐢)) の位置にして回転が遅くなったら、STOPにします。
※本機を止めるときは、平坦な場所を選んでください。
※燃えやすいものの近くには止めないでください。
※エンジンが熱いときは、カバーをかけないでください。火災の原因になります。

【保守と点検】



警告

- ・整備・点検・修理・燃料補給を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。
- ・エンジン停止後はマフラーや点火プラグなどは非常に熱くなっています。やけどをしないように作業はエンジンが冷えてから行ってください。
- ・定期的にマフラーの点検、各部ナット・ネジのゆるみがないかの確認、燃料漏れの確認をしてください。

●エアフィルターの清掃

エアフィルターカバー



エアフィルター



- ・エアフィルターの汚れは定期的に確認してください。汚れている場合には、下記の手順で清掃を行ってください。

①フィルターカバーを外し、エアフィルターを外します。

②エアフィルターに付着しているゴミやホコリを払ってください。

※汚れのひどい場合には灯油等でエアフィルターを洗浄してください。洗浄後、エアフィルターをエンジンオイルにひたし、エンジンオイルを良くしぼってから取り付けてください。エアフィルター内にエンジンオイルの残量が多いと、エンジン不調の原因となります。

※洗浄してもエアフィルターの汚れがひどい場合、またはエアフィルターの弾力が無くなったり、傷みがある場合には、新しい物と交換してください。

※エアフィルターが汚れていると、エンジンの始動不良や出力不足等の原因となりますので、エアフィルターはきれいにしておいてください。

③清掃が終わったら取り外したときと逆の手順で取り付けます。

●点火プラグの清掃

プラグキャップ



点火プラグ



プラグレンチで外す



①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチで点火プラグを外します。

②電極が汚れている場合には、プラグ用クリーナー・ワイヤーブラシ等でカーボンを落とすか点火プラグを交換してください。

※電極の隙間が大きい場合には、側方電極を曲げて、隙間の調整を行ってください。

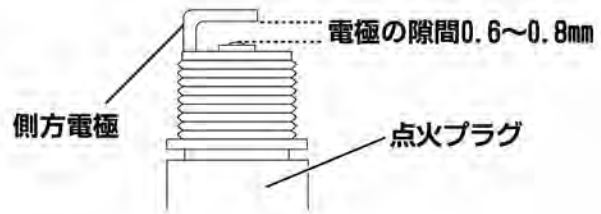
※故障の原因となるので、標準プラグ以外は使用しないでください。

※点火プラグのネジ山を壊さないようにまず指で軽くねじ込み、次にプラグレンチで確実に締めつけてください。

※点検・調整後はプラグキャップを確実に取付けてください。確実に取付けないとエンジン不調の原因になります。

標準プラグ

NGK : CR7HSA



●その他の清掃

- ・各部に付いたゴミやホコリはしっかりと拭き取ってください。また、水洗いする場合は、泥よけカバーより上に水がかからないようにしてください。
- ※耕刃を外してギヤケース部分に直接高圧水をかけないでください。ギヤケースの破損による故障の原因になります。
- ※水中に浸けての清掃は、絶対にしないでください。ギヤケースが損傷する恐れがあります。

●ギヤケースのグリス注入

- ・ギヤケースには定期的にグリス注入口のボルトを外してグリスガン(市販品)等でグリスを注入してください。
- ※使用するグリスは、リチウムグリスNo. 0と同等の物を使用してください。



グリス注入口

●エンジンオイルの交換方法

- ※必ず燃料を抜いて行ってください。(P17保管方法参照)
- ※オイルを抜く際は、容器(市販品)等を用意して、周囲にオイルがこぼれないようにしてください。
- ※廃油は法令に従って適切に処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。

- ①オイル注入口キャップを外し、給油ポンプ(市販品)でオイルを抜きます。
- ②残ったオイルは本体を横に倒して用意した容器(市販品)に入れてください。
- ③新しいオイルを入れ、オイル注入口キャップを締めてください。



オイル注入口キャップ

●クラッチワイヤーの張り調整

- ・クラッチを入れてもベルトがスリップして動力を伝達しない場合、またクラッチを入れるとベルトが張りすぎてレバーが重すぎる場合などは、クラッチワイヤー調整金具でベルトの張り具合を調節してください。

クラッチワイヤー調整金具



症状	対処法
ベルトがスリップする場合	調整金具のナットを緩めてネジを長くする
クラッチレバーが重すぎる場合	調整金具のナットを緩めてネジを短くする

●保管方法

- ・長期間(30日以上)使用しない場合には、燃料タンク及びキャブレター内の燃料を抜いてください。
- ※キャブレター内に燃料を残したままにしておきますと、キャブレター内の詰まり、作動不良等の原因となります。
- ※燃料を抜く際は、容器(市販品)等を用意して、周囲に燃料がこぼれないようにしてください。
- もしもこぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてから保管してください。

- ①燃料タンクキャップを外し、給油ポンプ(市販品)で燃料を抜きます。残量分は、ドレンネジを外し、容器(市販品)に出してください。

キャブレター

ドレンネジ



- ②燃料が抜き終わったら、ドレンネジを締めて、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。
- ③最後にエンジンが自然に停止するまで低速で運転をさせてください。
- ④リコイルスターターをゆっくり引き、圧縮のあるところ(重くなったところ)で止めてください。
- ⑤各部についたゴミやホコリをしっかりと拭きとってください。水洗いする場合は、泥よけカバーより上に水がかからないようにしてください。
- ⑥各部の清掃をきちんと行った後、金属部分には薄くオイルを塗ってください。
- ⑦安全のため必ず耕刃をウエスなどで包んで保管してください。

- ⑧エンジンが十分冷えていることを確認してから、ホコリがかからないようにカバーなどをしておいてください。
- ※耕刃を外してギヤケース部分に直接高圧水をかけないでください。ギヤケースの破損による故障の原因となります。
- ※水中に浸けての清掃は、絶対にしないでください。ギヤケースが損傷する恐れがあります。
- ※保管の際はお子様が触れることのできない鍵のかかった場所等に保管し、湿気の高い場所・雨等の水がかかる場所・直射日光のあたる場所は避けて、高温にならない乾燥した場所に保管してください。
- ※燃料は、屋内の火気の心配のない、冷たい乾燥した場所に安全な容器に入れて保管してください。古くなった燃料は故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
- ※本機は、タイヤをおろした状態で水平にして保管してください。横倒しや前後に倒しての保管はしないでください。

●ハンドルの折りたたみ方



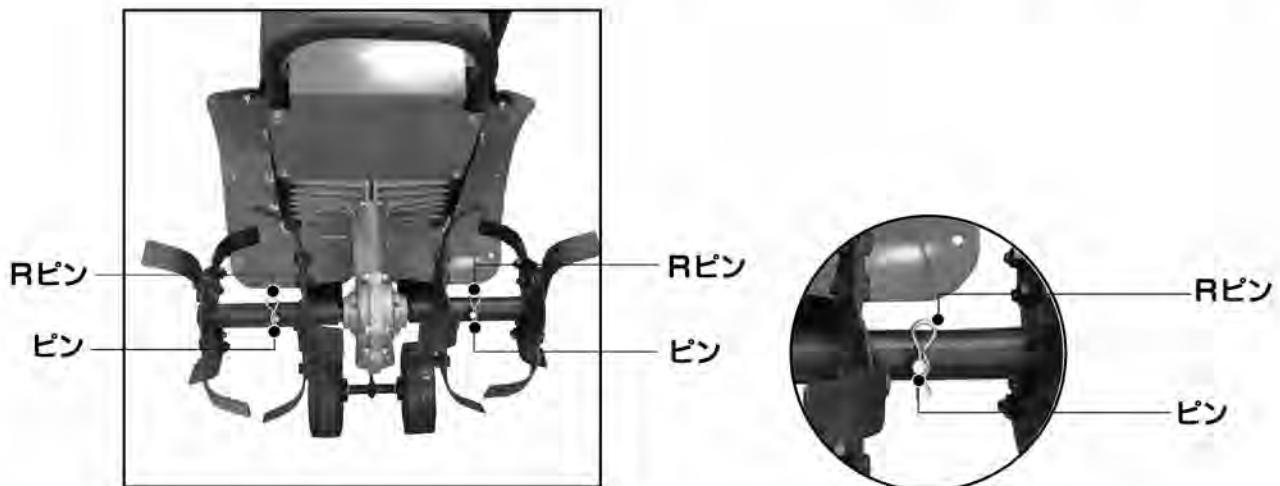
折りたたんだイメージ

- ・ハンドル固定用ノブを緩め、折りたたみます。
- ※折りたたむ際は、指を挟まないように注意してください。

●耕刃の交換方法

⚠ 注意

- ・耕刃を交換する際は、必ず燃料を抜いて行ってください。
- ・耕刃を交換する際は、必ず手袋を着用してください。ケガの原因となります。
- ・耕刃を交換する際は、必ずエンジンを停止し、本体が冷えてから行ってください。ヤケド・ケガの原因となります。
- ・交換後は、確実に取り付けられているか点検をしてください。事故やケガの原因となります。
- ・本体を前倒しにして作業をしないでください。燃料を抜き、後ろ倒しで作業してください。




- ① Rピン2個をお手持ちのペンチ等で引き抜いてからピン2個を外し、耕刃をゆっくり外します。
- ② 新しい耕刃をシャフトに差し込み、取り付けます。
- ③ ピンとRピンでしっかり固定します。

●トラブルの原因と対策

⚠注意

- ・本機の修理は、必ずお買い求めの販売店へお申し付けください。
- ・運転中、本機の調子が悪かったり本機に異常を感じたときは、ただちに使用を中止してください。
- ・取扱説明書の説明以外の分解・修理および改造は絶対に行わないでください。

状 態	原 因	対 策
エンジンが始動しない、 またはすぐ停止する	燃料が無い・古い	新しい燃料を補給する
	スロットルレバーが「STOP」になっている	スロットルレバーを「  」にする
	点火プラグから火花が出ない	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
	エアフィルターが詰まっている	フィルター類を清掃もしくは交換をする
	燃料の吸い込み過ぎ	点火プラグを外してリコイルスターターを5・6回引き、点火プラグの電極部を乾かしてから点火プラグを装着して、再度エンジンを始動させる
	暖機不足	暖機運転をする
	圧縮が不足している	お買い求めの販売店に相談をする
	エンジンが故障している	お買い求めの販売店に相談をする
エンジンの出力不足 および回転が不安定	エアフィルターが詰まっている	フィルター類の清掃もしくは交換をする
	点火プラグの汚れ	点火プラグの清掃・調整もしくは交換をする
エンジンが停止しない	スイッチ端子の不良・汚れもしくはスイッチリード線の不良	お買い求めの販売店に相談をする
耕刃が回転しない	耕刃が正しく装着されていない	耕刃を確実に取り付ける
	耕刃に異物が引っ掛かっている	異物を取り除く
	耕刃が破損（割れ・歪み・摩耗）している	新しい耕刃に交換する
本体が異常に振動する	ハンドル、その他の締め付け部分の緩み	しっかり増し締めをする
	耕刃に異物が引っ掛かっている	異物を取り除く

※上記の表は簡単な異常に対する対策のみを記載しておりますので、わからない点や複雑な異常については、お買い上げいただきました販売店へご相談ください。

株式会社 ナカトミ

〒382-0800 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地の2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL. 026-245-3105 FAX. 026-248-7101

受付時間10:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。